



帝京大学総合博物館企画展 帝京大学創基90年記念
- 帝京ことはじめ - SINCE 1931

帝京商業学校の物語



2021年10月6日(水)~2022年4月30日(土)

●開館時間：午前9時~午後5時（最終入館午後4時30分）

●入館無料

●閉館日：日曜日・祝日及び以下の日は閉館いたします。※臨時閉館日：10月17日(日)

10月9日(土)/11月20日(土)/12月11日(土)・12月29日(水)~1月3日(月)/1月15日(土)・31日(月)/
2月1日(火)・21日(月)・22日(火)/3月5日(土)

※10月16日(土)・17日(日)は学園祭開催のため、入館は事前予約制となります。開館時間は、午前10時~午後4時となります。詳しくは、当館ホームページをご確認ください。

新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、開閉館日を変更することがございます。
ご来館の前には、当館ホームページ、Twitter、またはお電話にて最新情報をご確認ください。

帝京大学総合博物館
Teikyo University Museum



帝京大学の起源は、今から90年前の1931(昭和6)年5月20日に開校した帝京商業学校に遡ります。夜間制の男子商業学校として開校し、わずか4名の新入生からスタートしました。開校から3年後の1934(昭和9)年には、昼間部を設置し着実に学校の規模を大きくしていきます。そして、最盛期には1500名以上の生徒が在籍する学校へと成長しました。本企画展では当時撮影された帝京商業学校の写真や、それらの写真をもとに復元した校舎の模型、そして当時使われていた教科書などを通して、本学の教育の原点である帝京商業学校の姿を紹介します。あわせて、同校が掲げた「人格の陶冶」「実践的教育」「体育武道奨励」の3つの教育方針のもと、教育活動がどのようにおこなわれていたのかを振り返ります。

◆ ことはじめの時代

第1章

経済や科学が目覚ましい発展を遂げた激動の20世紀初頭、立身出世をこころざした人々は東京を目指します。そして、その人々を担い手として様々な大衆文化が花開きました。しかし、世界恐慌の波や満州事変の勃発など、その背後には暗い影が近づいていました。

経済・科学の発展



『現代世界一』(1931年)

花開く大衆文化



新宿帝国館チラシ(1932年)



日本橋三越絵葉書(1930年代)

立身出世

のための
受験戦争



『受験と学習』(1934年)



色濃くなる
戦時色



『小学5年生』(1931年)

◆ ことはじめの風景

第2章

1931年に創立した帝京商業学校は、生徒数を着実に伸ばし、1500名以上の生徒が在籍する学校へと成長します。それにあわせて、校舎の拡充がおこなわれました。

創立者たち



左 初代理事長 尾中勝也
右 二代目理事長 沖永荘兵衛

校舎の充実



帝京商業学校の校舎(1939年)

の誕生
帝京商業学校



帝京商業学校設置認可証(1931年)

◆ ことはじめの教育

第3章

帝京商業学校では「人格の陶冶」「実践的教育」「体育武道奨励」という3つの方針の下、教育がおこなわれました。

実践的に学ぶ
ための教科書



右『商業実践作文教科書』
左『ニュークラウンリーダーズ』

帝京商業生



帝京商業学校の生徒(1940年)

スポーツでの活躍



全国中等学校優勝野球大会(現在の夏の甲子園)東京府大会で優勝した帝京商業野球部(1941年)



『最新東京苦学案内』(1934年)

苦学生のための
夜間部

◆ 瓦礫からの再出発

第4章

1945年5月25日。帝京商業学校は空襲により全焼します。廃校が検討されるなか、教育に熱い思いを持つ教職員や学校の再開を信じる生徒により、学校は再出発することになりました。

校舎の焼失



空襲による火災で焼失した帝京商業学校(1945年)

旧陸軍施設への移転



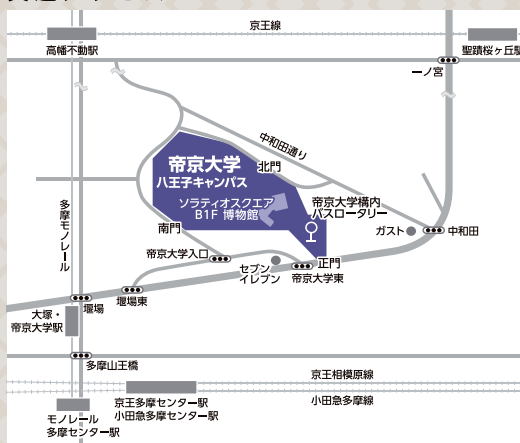
東京陸軍第二造兵廠跡に移転した帝京商業学校の校内(1940年後半)

新教育制度
の下での
再出発



帝京商業高等学校組織変更認可証(1951年)

交通アクセス



* 大学構内に来館者の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
* 高幡不動駅・聖蹟桜ヶ丘駅・多摩センター駅から「帝京大学構内」行きのバスが便利です。(所要時間15~20分)
* 車いすでご来館予定の方は事前にご連絡ください。

【表写真】上段左からムーラン・ルージュ新宿座プログラム(1935年) / 1930年代の渋谷駅の周辺[白根記念渋谷区郷土博物館・文学館所蔵](1932年) / 満州事変における日本軍「アサヒグラフ」17巻15号より(1931年) 上段右 帝京商業学校の授業風景(1940年頃) 下段左から 帝京商業学校の校舎(1935年頃) / 京王電車沿線案内図(1933年)

※所蔵先の記載がない資料は全て帝京大学所蔵